

2026年7月21日(火)

北海道エアポート株式会社

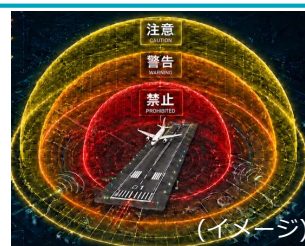
三共電気工業株式会社 千歳支店

国内空港初**新千歳空港におけるデジタル安全バリア「AGシステム」の実証実験を開始**

北海道内7空港を運営する北海道エアポート株式会社（以下「北海道エアポート」）は、三共電気工業株式会社 千歳支店（以下「三共電気工業」）と共に、空港運営のデジタル化の一環として、空港向け安全管理プラットフォーム「AGシステム（Area Guard System）」を用いた実証実験を2026年8月より開始します。

AGシステム概要

- ・ 名 称 : AGシステム（Area Guard System）
- ・ 開 発 主 体 : 三共電気工業（すでに実用化済）
- ・ 主 な 仕 様 :
 - ・ 仮想フェンスにより、立入禁止エリアへの接近・進入をリアルタイム検知
 - ・ 「注意」「警告」「禁止」の3段階で警報通知
 - ・ 作業員/車両位置を一元管理し、立入禁止エリアへの誤進入等を未然防止

**実証実験概要**

- ・ 実 施 背 景 : 既存の運用対策・教育・ルール遵守に加え、デジタル技術を活用した安全管理高度化の取り組みの一環
- ・ 実 施 目 的 : 空港運営におけるさらなる安全性向上
- ・ 実 施 時 期 : 2026年8月～
- ・ 実 施 内 容 : 以下の項目を検証
 - ・ 新千歳空港の滑走路/誘導路/工事エリア等における仮想フェンス設定の実行性
 - ・ 作業員/車両の位置情報取得精度、検知スピード、警報通知の視認性
 - ・ 将来的な北海道エアポート運営7空港への展開可能性 など
- ・ 目指す効果 :
 - ・ 制限区域内工事における安全管理の高度化
 - ・ ヒューマンエラーの補完
 - ・ 作業員/車両の安全確保
 - ・ 航空機運航の安全性向上への寄与 など



北海道エアポートは、本実証実験を通じて、既存の教育・ルール・運用対策にデジタル技術を組み合わせ、制限区域内工事における安全バリアを一層強化していくとともに、安全安心を最優先とする空港運営を通じ、地域と航空ネットワークを支える社会インフラとしての責任を果たしてまいります。

また、三共電気工業は、航空灯火関連業務で培った空港現場の知見を活かし、AGシステムの実用性向上に取り組んでおり、新千歳空港の運用に即した検証を通じて、作業員・車両の安全確保と航空機運航の安全性向上に貢献してまいります。

<本件に関するお問い合わせ>

北海道エアポート(株) 総務・人事部 広報課 0123-46-2990 (代表)
三共電気工業(株)千歳支店 営業部 0123-29-6577 (担当: 佐々木)